


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	鑑賞教室（全校行事）		
	単元(題材)の目標	鑑賞を通して、表現することの楽しさを味わい、豊かな心を育む。（鑑賞教室）		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	教師が自宅を訪問して、週2回程度自立活動を主にを行い、週1回程度登校し個別に自立活動を行っている児童である。学部行事、学校行事に参加する機会が少ない。周囲の様子に視線を動かし、かかわりに対して怒ったり笑ったりと表情を変化させる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、三脚・iPadホルダー（2組）		
	使用したアプリケーションの名称	Google Meet		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	登校する機会が少なく、自宅で個別に学習することが多い児童に対して、様々な刺激を受けることのできる学校行事に参加する機会を作る。			
活用の状況と支援	活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞教室の会場と児童自宅のベッドサイドを Google Meet で接続し、鑑賞した。 ・児童側からの入力接続時の教師どうし打ち合わせのみであるため、音声の遅れは鑑賞には影響しない。 ・児童は楽な姿勢（仰臥位）のまま、鑑賞教室に参加できる。三脚に iPad を固定しておくことで、医療的なケアが必要な場合は、速やかに iPad を脇に寄せることができる。 ・会場側は大きい音の中で、通話の音声聞き取れない状態で、児童側は、音声は明瞭に聞こえるが、演奏は曲名が分かる程度の音量に抑えられている状態だった。児童は iPad の画面を見つめ、視線を動かしていた。鑑賞教室の雰囲気は音声よりも、映像に頼るところが大きかった。 		